

広報用実績のまとめ

H25年度

団体名 岡山城・後楽園カヌー駅伝大会実行委員会	代表者 本谷光円	記載者 角南高之
所在地(市区町村名のみ) 岡山市		
活動目「岡山城」「後楽園」周辺の旭川が漕水カヌー競技に適した全国でも稀有な場所であることを示すとともに、初心者から五輪選手まで一緒に楽しめるカヌーの普及と生涯スポーツの振興に寄与すること		
団体の紹介 岡山カヌークラブのメンバーを中心に東京オリンピックカヌー選手で半世紀以上カヌーの普及に取り組まれている本田大三郎先生の指導を受けて、恵まれた環境の岡山城でカヌー駅伝大会を開催し、カヌーの普及とカヌー仲間の交流を図る団体です。		
助成を受けての活動内容 平成24年4月8日の第1回大会に引続き、第2回岡山城・後楽園カヌー駅伝大会を平成25年4月13日および4月14日に、56チーム224人の選手の参加と支援スタッフ98人で開催した。 4月13日にはタイムトライアル競技を行い、京橋から鶴見橋の間を往復するタイムを計測し、全員を表賞した。風の有無によりタイムは変わるが、タイムトライアル1位のタイムが目標タイムとなり、次回参加に向けた練習者が増えることを期待する。 また、競技終了後、大会会場において前日祭を開催し、参加者紹介と懇親を行なった。 参加者は、岡山県および隣接する県からの参加が多いが、神奈川から熊本まで広範囲にわたり、初心者から元オリンピック選手や元国体選手、現役学生選手と小学生から78歳までの人間がカヌーを通じて懇親した。 4月14日には多くの来賓にお越しいただき、岡山県マスコットキャラクターももっちとうらっちの号砲で全選手が一斉にスタートし、駅伝大会を行なった。 上位表賞のほか、全員にタイムを記載した賞状を配布し、次回参加時の目標となるよう取り組んだ。		
助成を受けての成果 第1回大会では経費が不足し、借艇料等を支払えず多くの器材借用料等を減免いただいたが、第2回大会は借艇料および運送費実費を支払うことができ、今後の継続開催に向けた取り組みができた。		
今後の活動の課題点 第1回大会、第2回大会とも60チーム弱の参加だったが、参加チームを増やし、岡山の春の風物詩となるよう取り組む。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) http://www.geocities.jp/okayama_cone_club/home.html		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
 写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。